

1. **大課題名** V 情報処理等先端技術の活用による高生産システムの確立
2. **課題名** リモートセンシングと可変施肥を組み合わせた小麦の精密追肥の実証
3. **試験担当機関** 愛知県農業総合試験場 作物研究部 作物研究室
・**担当者名** 技師 柏木 啓佑
4. **実施期間** 令和4年4月から令和5年3月末日まで 【継続】
5. **試験場所** 県内沖積土壌地域の小麦ほ場（安城市） 2.1ha（2筆）
6. **成果の要約**
調査実施前のため、なし。

7. 目的

当試験場では、ドローンを活用したリモートセンシングにより、小麦の生育状況に応じて最適な追肥量を推定する技術を開発した。本試験では、リモートセンシングと可変施肥を組み合わせた、小麦の精密追肥体系の現地実証を行い、収量・品質の安定効果を確認する。令和4年度は県内沖積地域の現地ほ場で実証する。

8. 主要成果の概要及び考察

調査実施前のため、なし。

9. 問題点と次年度の計画

- ・令和3年度の試験では、収量・タンパク質含有率のバラつきが抑えられたものの、収量向上効果は見られなかった。
- ・令和3年度の試験の実証農家は、施肥マップに基づく可変施肥に魅力を感じたものの、ドローン空撮が天気に左右されること、画像解析に手間がかかりすぎることをネックに感じた。

10. 主なデータ

調査実施前のため、なし。